

新規・継続等	新規	分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(治山施設機能強化)					
市町村名	飯田市		ふりがな 箇所名	かみしま 上島		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~ H23 年度						
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工0.1ha 土留工(増厚・高上)2基、水路工100m、伏工1,000㎡ ほか					H22年度末事業進捗率	0 %					
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0 %					
	H23年度実施内容	同上					用地補償費ベース	- %					
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残			
	事業費計(千円)	33,800		0		0		33,800		33,800			
財源内訳	国庫支出金	15,500		0		0		15,500		15,500			
	その他												
	県債	16,470		0		0		16,470		16,470			
	一般財源	1,830		0		0		1,830		1,830			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部	政策評価課				
								ランク	評点	ランク	評点		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸		0戸		A	5	A	5
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所		なし			3		3
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設			一般施設		なし			0		0
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上			保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり		保安林率30%未満			7		7
		小計									15		15
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上			災害履歴地		なし		B	5	B	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中		小			1		1
		防災計画上の位置づけ	あり			なし					5		5
		小計									11		11
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上			B/C1.0以上2.0未満		B/C1.0未満		A	10	A	10
		早期発現度	3年未満			3年以上5年未満		5年以上			7		7
		流域の総合調整	あり			なし					3		3
		小計									20		20
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満			50m以上200m未満		200m以上		A	4	A	4
		地形、地質の状況	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形			火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯		その他			2		2
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)			5°~10°未満(20~30°未満)		5°未満(20°未満)			3		3
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし			あり(概ね満砂)		あり(ポケットあり)			3		3
		危険地区危険度	Aランク			Bランク		Cランク			7		7
小計									19		19		
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り		特に要望ない		B	7	B	7	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			3		3	
	小計									13		13	
費用対効果(B/C)		9.78		評価の合計				A	78	A	78		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	S50年より治山事業を行い、各施設が減災能力を發揮してきたが、平成22年7月豪雨により、山腹内斜面内を伏流していた水が地表に噴出し、土砂が下方集落及び市道へ流出した。計画地内には大量の土砂が堆積しており、今後の降雨により再度災害の恐れが高いため、対策を行う必要がある。											
	地域からの要望経緯	平成22年7月梅雨前線豪雨災害の被災地であり、被災時に地元より飯田市を通じて要望が出される。											
	事業説明等の経緯	計画地の調査結果、事業計画をH22年12月に飯田市に説明している。											
	環境・景観への配慮項目	特になし。											
	他事業・プロジェクトとの関連	下方水路の改良について、飯田市と調整中。											
	特記事項	特になし。											
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他			
部意見	集落に近接した治山工事施工地であるが、平成22年7月豪雨の際には山腹斜面内を伏流していた水が噴出し、土砂を流出させた。このため、既設土留工を高上げ、増厚するとともに暗渠併設水路を配置し排水機能を増強する等の機能強化対策を行い、再度災害の発生を防止する必要がある。					政策評価課意見	必要性、緊急性が認められる。						